クライミングでつなぐ、人・地域・未来～「クライミングの町・小鹿野」を目指すスポーツ・観光まちづくり～

スポまち！表彰2026
⑪埼玉県小鹿野町

＜目標＞　　計画期間：令和９年４月１日～令和１２年３月３１日

小鹿野町が抱える交通アクセス等の課題や人口減少というハンデを克服するため、豊かな自然とスポーツクライミングを融合させ、力強くスポーツツーリズムを推進。
①【関係人口の創出】継続的な繋がりを通じた町への愛着（シビックプライド）の醸成。
②【地域経済の活性化】スポーツツーリズムによる新たな人の流れを生み出し、持続可能なまちづくりを実現。
町内全体の観光入り込み客数（年間）：R11年度末までに355,000人を目指す（R7年度345,000人）

＜ＰＲポイント＞

①**世界的クライマー**が町の観光大使としてアドバイザーを務める。
②**秩父地域最大の町営クライミング施設**を整備し、町内外に関わらず**誰でも気軽にスポーツクライミングを始められる環境**を確保。
③クライミング競技全国大会の誘致。（全国中学生ボルダー競技大会が毎年小鹿野町で開催）

＜現状・課題＞

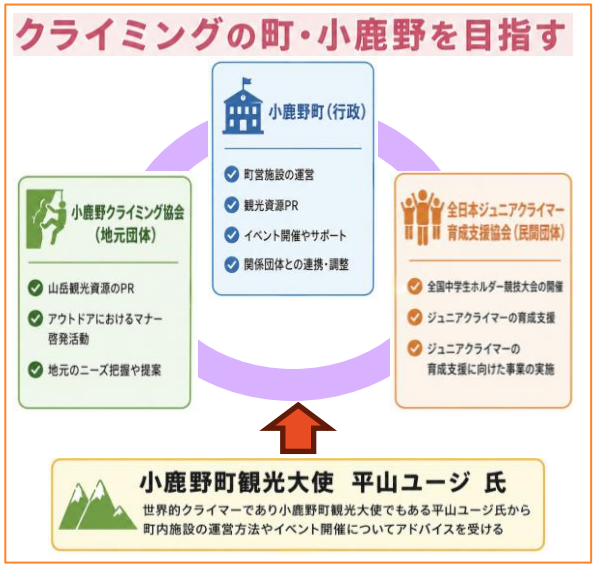
〇小鹿野町は都心から日帰り可能な立地。日本百名山の「両神山」やロッククライミングで有名な「二子山」などの豊かな山岳観光資源を有する。一方で町内に鉄道がなく、**町内面積の８割を占める広大な山林**により**交通の面では大きな制約**。
〇令和７年度時点で総人口約10,000人に対し65歳以上の高齢者の割合は40%超。14歳以下の年少人口は約7%程度に留まっており、今後もさらなる人口減少が進む見込み。
〇持続可能なまちづくりを実現するために、スポーツツーリズムを通じた新たな人の流れを生み出す必要がある。

＜総合的な取組内容＞

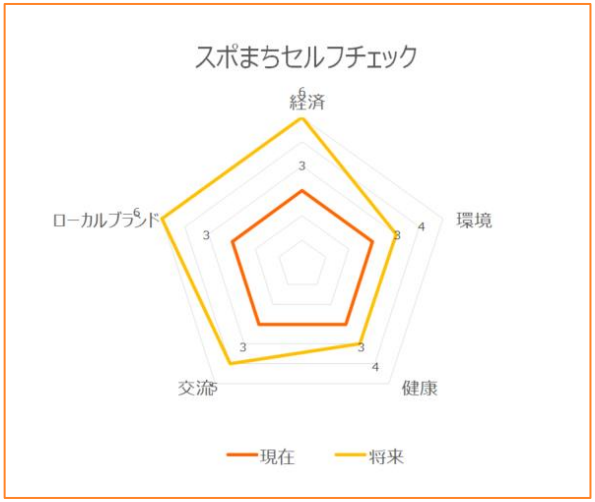
クライミングを入口として、
①「スポーツを始める町民が増える」
↓
②「子どもたちが夢や目標を持つ」
↓
③「全国から競技者が集まる」
↓
④「家族や関係者が町を訪れる」
↓
⑤「宿泊・飲食・観光につながる」
↓
⑥「地域経済が活性化する」
↓
⑦「小鹿野町の認知度が高まる」
↓
⑧「さらに人が訪れる」
という好循環を生み出すことを目指します。



＜継続的な取組を確保できる体制（図）＞



＜セルフチェックシート＞



【フォローアップ欄】令和８年度以降における計画の進捗状況

問合せ先・電話番号

小鹿野町役場商工観光課
☎０４９４－７５－５０６０